

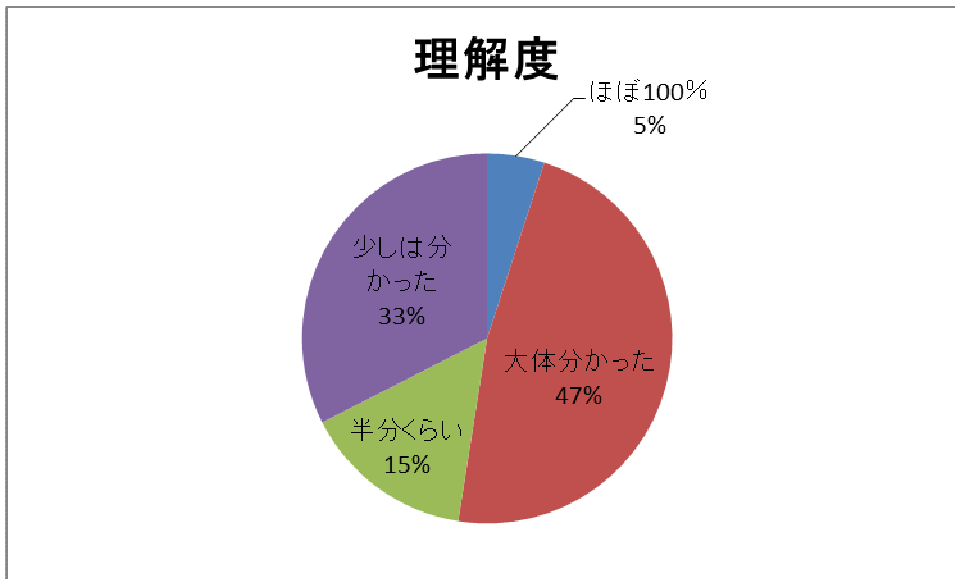
『放射線の正しい知識と対策』講演会アンケート結果

平成 23 年 8 月 23 日実施

みずほの村市場

<http://mizuhonomuraichiba.com>

1. 講演会の内容は分かりやすかったですか？



2. 新しく知ったり良く理解できたりして、よかったと思ったことは何ですか？

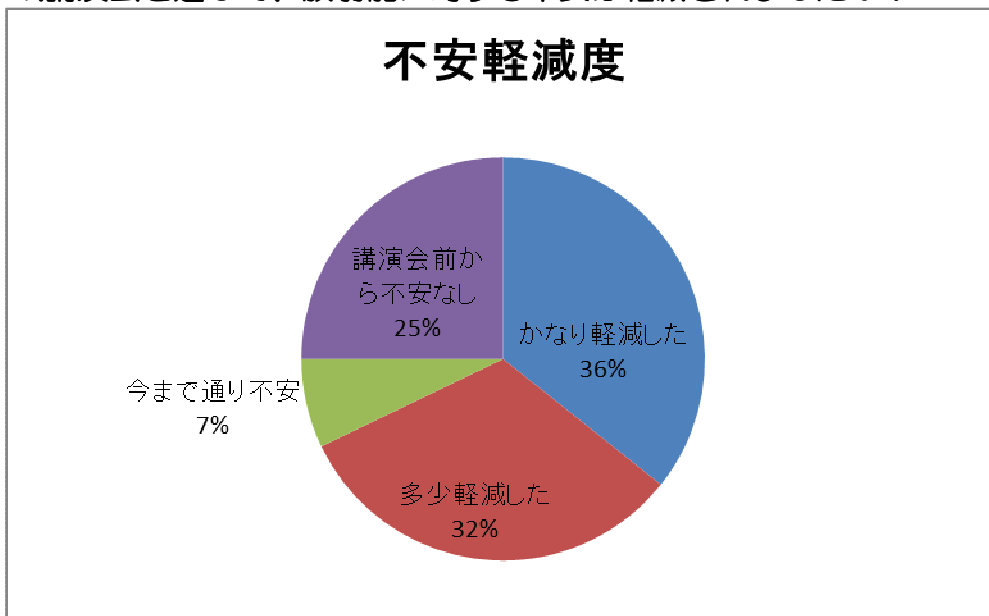
- ・セシウムとカリウムの関係
- ・セシウムによって癌が増えたという報告がほとんどないこと 食品による内部被ばく(410 μ Sv)
- ・セシウムの性質を少し理解できてよかったです。
- ・K40の放射線については初めて知ったが、現状を理解する上で役に立った。
- ・セシウムの性質が分かりホッとした。むやみに恐れる必要がないこと。
- ・色々な情報が出ていて何が正しいのか？きちんとした知識を得ることが重要と気づいた
- ・具体的な数値を公表し、つくば市の農産物の影響度が分かって非常によかった
- ・報道等と言われてることをどう理解し判断するか、ひとつの目安(見方)を教えられた
- ・基本的な知識を集積できた。今後も高妻先生の書籍を熟読し、理解を深めたい
- ・フィンランドの放射線量や、自然に食物に含まれる放射性カリウムについて初めて知った。
- ・気をつけることは大切だが、冷静になれなければと思った。
- ・ベクレルからシーベルトに変換することが分かった。体内に摂取される年間の放射線量が理解できた。
- ・みずほで測定会に参加していたので、なおよく分かった。
- ・市販のガイガーカウンターの感度の低さが分かった(値がぶれる、バックグラウンドが測れない等)
- ・シーベルトが人間にしか当てはまらないこと
- ・食品の年間放射線量の平均を知ることができた。実効線量への換算の計算式が知れたのが良かった。

3. 分かりにくいと思ったこと、また疑問点が解消されないことは何ですか？

- ・難しい言葉が多かった
- ・セシウムは半減まで30年かかると言ったが、体内では70日間で半減するのはなぜか？
- ・原子の意味。放射線を測る地点は高さは考慮しないのか(数値がまちまちになるのでは?)
- ・どの程度の堆肥を使って問題がなかったのか
- ・セシウムの入った堆肥とは、どのくらいの放射線量か知りたい。
- ・セシウムが α 線なのか β 線なのか γ 線なのかよく分からなかった

- ・土地に放射性セシウムがあるのに、育った野菜等に検出されない理由
- ・化学的な言葉や計算式など
- ・ μSv から Bq までの換算の仕方
- ・セシウム、ヨウ素以外の放射性物質の性質とその対策は？
- ・数値が多すぎて分からない
- ・理解できたようでまだ不安な気持ちが残っている

4. 講演会を通じて、放射能に対する不安は軽減されましたか？



5. その他お気づきの点、みずほの取組みについて、また今後の対策などについて、ご提案・ご意見・ご質問を自由に記入下さい。

- ・またこういう講演会を主婦にも分かり易くして頂けたら嬉しい
- ・もっと分かり易い説明をしてほしい
- ・みずほの対応は素晴らしいと思う。どんどん発して欲しい。
- ・いつ暫定基準値から「暫定」の文字が取れるのか
- ・消費者に対して正しい情報を発信できなければ不安を取り除くことができないという考え方を評価する。独自検査、積極的な情報開示を今後も期待する。
- ・非常に素晴らしい取組みと姿勢で、他農業者、行政にも見習ってほしい
- ・現在の取組みを継続して欲しい
- ・素晴らしい。今後も続けて欲しい。できれば妻子にもこのような講演会を聞く機会を与えたい
- ・国でもやれないことを企業独自で進めていくことは大変素晴らしい会社だと思った
- ・実家が南相馬市小高区、20km圏内にあります
- ・持ち込みサンプルの放射能チェックが可能かどうか。個人農園の作物の放射能レベルを心配している人はたくさんいます。
- ・今後も大いに情報公開してください
- ・この講演の意義自体は否定しないが、個人的に求めている内容とは多少方向性が異なると感じた
- ・本日の講演会には感謝します
- ・店頭では「検出せず」と表示されているものもあるが、表示されていないものは検査されているのか、実際にはどうなのか？（まあ大丈夫なのだろうと何となく買っている）
- ・今後数十年、放射線と対峙しながら生活していかなくてはならないので、その長期的な対処法を教えて欲しい。